

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009001	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (E(英1)・E(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(英1)・E(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo▲hotmail.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo▲hotmail.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	r_otsubo▲hotmail.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」は、ハイブリッド型の授業が行われます。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。 対面授業は隔週で実施され、オンラインコミュニケーション、持続可能な都市づくり、Chat GPTなど、私たちの身近なことについて触れた英文記事を通して知見を広げると同時に、読解力向上のため、既習文法の再確認に取り組みます。 対面授業がない週は、指定されたe-learning教材学習を各自で行ってもらいます。ただし、教材学習時間としては十分ではないので、授業時間外でも学習を行ってください。		
授業到達目標/Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 社会の多様性が理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容理解確認小テスト(4点×5回=20点)+授業課題(2.5点×2回=5点)+定期試験(25点)+e-learning教材学習テスト(40点)+e-learning教材学習の学習時間・進捗度(10点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。 e-learning教材学習週については、学習時間・進捗度等を総合的に判断し、成績に反映します。 詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・e-learning 自学自習(合計30時間) ・予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また、小テストに向けた学習(1時間/回) ・復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努め、また、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1時間/回)		
キーワード/Keywords	SDGs, Chat GPT, Details		
教科書・教材・参考書/Materials	Reading Prospect(三修社)1,900円+税		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式とオンライン形式（オンデマンド）のハイブリッド型で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	対面授業（初回オリエンテーション、e-learning教材学習テスト2回を除く）は全6回です。その内2回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失いますので、注意してください。（なお、欠席届の取り扱いについては学生便覧P10に準じます。） 授業は必ず予習をして臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4/8）	L1（対面）：オリエンテーション L2（対面）：オリエンテーション
第2回（4/15）	L1（対面授業）：テキスト Unit 1 Getting to the Roots of Meaning L2（e-learning）：ADL Unit 1 / PWH Unit 1～25
第3回（4/22）	L1（e-learning）：ADL Unit 1 / PWH Unit 1～25 L2（対面授業）：テキスト Unit 1 Getting to the Roots of Meaning
第4回（5/13）	L1（対面授業）：Unit 1 内容理解確認小テスト テキスト Unit 2 Cool Ideas... L2（e-learning）：ADL Unit 2 / PWH Unit 26～50
第5回（5/20）	L1（e-learning）：ADL Unit 2 / PWH Unit 26～50 L2（対面授業）：Unit 1内容理解確認小テスト テキスト Unit 2 Cool Ideas...
第6回（5/27）	L1（対面）：e-learning教材学習テスト 1回目 L2（対面）：e-learning教材学習テスト 1回目
第7回（6/3）	L1（対面授業）：Unit 2 内容理解確認小テスト テキスト Unit 3 Happy Anniversary Snoopy L2（e-learning）：ADL Unit 3 / PWH Unit 51～75
第8回（6/10）	L1（e-learning）：ADL Unit 3 / PWH Unit 51～75 L2（対面授業）：Unit 2 内容理解確認小テスト テキスト Unit 3 Happy Anniversary Snoopy
第9回（6/17）	L1（対面授業）：Unit 3 内容理解確認小テスト テキスト Unit 4 Sweat the Details L2（e-learning）：ADL Unit 4～5 / PWH Unit 76～100
第10回（6/24）	L1（e-learning）：ADL Unit 4～5 / PWH Unit 76～100 L2（対面授業）：Unit 3 内容理解確認小テスト テキスト Unit 4 Sweat the Details
第11回（7/1）	L1（対面授業）：Unit 4 内容理解確認小テスト テキスト Unit 5 The Legacy of the Rikejo L2（e-learning）：e-learning 教材学習テストに向けた復習
第12回（7/8）	L1（対面）：e-learning教材学習テスト 2回目 L2（対面）：e-learning教材学習テスト 2回目
第13回（7/16）	L1（e-learning）：授業課題 Unit 6 L2（オンライン）：（リアルタイム）Unit 4 内容理解確認小テスト （オンデマンド）授業課題 Unit 5
第14回（7/22）	L1（対面授業）：Unit 6 内容理解確認小テスト テキスト Unit 7 From Field to Fabulous L2（e-learning）：授業課題 Unit 6
第15回（7/29）	L1（e-learning）：授業課題 Unit 8 L2（対面授業）：Unit 6 内容理解確認小テスト テキスト Unit 7 From Field to Fabulous
第16回（8/5）	（対面）定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009002	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (E(英3)・E(英4)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(英3)・E(英4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akinatsuhana3▲gmail.com (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師控室 月曜日 (メールで事前に連絡してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」は、ハイブリッド型の授業が行われます。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明しますので、必ず出席してください。 対面授業は隔週で実施されます。最近の世界の話題や出来事について英語で情報を得たり、自分の考えを平易な英語で簡潔に伝える演習をします。海外の文化やグローバル社会に向けての関心と知識を広げ、総合的な英語力を身につけていきます。 対面授業がない週は、指定されたe-learning教材学習を各自で行ってもらいます。ただし、教材学習時間としては十分ではないので、授業時間外でも学習を行ってください。		
授業到達目標/Course goals	英語で情報を得ることを通じて、世界の問題を自分と関連づけられるようになる 英語学習のモチベーションを高めることができる リスニングと音読演習を通じて、英語音声の特徴に慣れ親しみ、自らのリスニング、スピーキングに役立てることができるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・e-learning教材学習テスト2回(40%) (1回目20%+2回目20%) ・e-learning教材学習週の学習時間・進捗度(10%) ・予習復習課題(10%) + 授業への取り組み(10%) + 期末テスト(30%) e-learning教材学習については、学習時間・進捗度等を総合的に判断し、成績に反映します。 詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	[e-learning自学自習] 合計30時間 [予習] ニュースやスピーチのリスニング、読解、音読の予習(1hr/回) [復習] 授業で紹介するトピックスと資料の理解を深める課題(1hr/回)		
キーワード/Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	指定の教科書はありません。最近のニュース、SNS、TEDtalks などの皆さんの身近にある情報を英語教材として学習していきます。題材は授業の中で紹介していきます。LACSに資料やリンクを配信しますので確認ください。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業がオンラインに変更になる場合があります。LACSの連絡事項でお知らせしますので授業日前に確認下さい。
学生へのメッセージ/Message for students	対面授業（初回オリエンテーション、e-learning教材学習テスト2回を除く）は全6回です。その内2回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失いますので、注意してください。（なお、欠席届の取り扱いについては学生便覧P10に準じます。） 授業資料や課題はLACSに配信しますので授業毎に確認ください。また、対面授業がオンライン授業に変更になることもありますので、対面授業日前にLACSの連絡事項を必ず確認してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	西アフリカのUNICEF事務所にJPOとして2年間勤務 ・ 時事英語や国際社会でコミュニケーションをとる際に役立つ実践的な英語を適宜授業に取り入れている。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	E3 (対面) : オリエンテーション E4 (対面) : オリエンテーション
第2回	E3 (対面) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習 E4 (e-learning) : PowerWords Hybrid : Unit 1 ~ 25 / ADL : Unit 1
第3回	E3 (e-learning) : PowerWords Hybrid : Unit 1 ~ 25 / ADL : Unit 1 E4 (対面) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習
第4回	E3 (対面) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習 E4 (e-learning) : PowerWords Hybrid : Unit 26 ~ 50 / ADL : Unit 2
第5回	E3 (e-learning) : PowerWords Hybrid : Unit 26 ~ 50 / ADL : Unit 2 E4 (対面) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習
第6回	E3(対面) e-learning 教材学習テスト1回目 E4(対面) e-learning 教材学習テスト1回目
第7回	E3 (対面) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習 E4 (e-learning) : PowerWords Hybrid : Unit 51 ~ 75 / ADL : Unit 3
第8回	E3 (e-learning) : PowerWords Hybrid : Unit 51 ~ 75 / ADL : Unit 3 E4 (対面) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習
第9回	E3 (対面) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習 E4 (e-learning) : PowerWords Hybrid : Unit 76 ~ 100 / ADL : Unit 4 ~ 5
第10回	E3 (e-learning) : PowerWords Hybrid : Unit 76 ~ 100 / ADL : Unit 4 ~ 5 E4 (対面) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習
第11回	E3 (対面) : 配布教材による演習 E4 (e-learning) : e-learning教材学習テストに向けた復習
第12回	E3(対面) e-learning 教材学習テスト2回目 E4(対面) e-learning 教材学習テスト2回目
第13回	E3 (e-learning) : 配布教材による演習 E4 (対面) : 配布教材による演習
第14回	E3 (対面) : 配布教材による演習 E4 (e-learning) : 配布教材による演習

第15回	E3 (e- learning) : 配布教材による演習 E4 (対面) : 配布教材による演習
第16回	(対面) 定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009003	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (E(英5)・E(英6)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	作元 裕也		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	作元 裕也		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	作元 裕也		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(英5)・E(英6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ysakumoto▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、又は要相談(上記メールアドレスにメールを送ってください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」は、ハイブリッド型の授業が行われます。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。 対面授業は隔週で実施され、「大学生のためのCNNニュース・リスニング:STEAM教育 編」を用い、英語の基礎力を向上させることを目的とします。また、大切な文法事項を取り扱います。 対面授業がない週は、指定されたe-learning教材学習を各自で行ってもらいます。ただし、教材学習時間としては十分ではないので、授業外でも学習を行ってください。		
授業到達目標/Course goals	1. リスニング能力、リーディング能力を向上させることができる。2. 様々なトピックに関して、英語で、議論できるようになる。3. 授業のトレーニングにより、英語の表現能力を向上させることができる。4. 文法をより理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ☐C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 40% + 授業参加度 10%= (50%) (各クラスの評価内容を記載) + e-learning教材学習2回テスト40%(1回目20% + 2回目20%) + e-learning教材学習時間・進捗度(10%) e-learning教材学習週については、学習時間・進捗度等を総合的に判断し、成績に反映します。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	1. Unit内の語彙を予習の段階で学習してくること。そして、事前に教科書の内容を目を通しておく。(1.5h/回)。2. 授業で習ったことを復習し、内容を理解すること(1.5h/回)。3. e-learning自学自習(合計30h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	大学生のためのCNNニュース・リスニング:STEAM教育 編, 朝日出版		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	前回出席が原則。教科書を必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業はハイブリッドで実施します。変更がある場合は、LACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	対面授業（初回オリエンテーション、e-learning教材学習テスト2回を除く）は全6回です。その内2回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失いますので、注意してください。（なお、欠席届の取り扱いについては学生便覧P10に準じます。）
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	E(英5)・E(英6) (対面) : オリエンテーション
2	E(英5)(対面授業): 教科書 Unit 1-2, E(英6) (e-learning): ADL Unit 1 / PWH Unit 1~25
3	E(英5) (e-learning): ADL Unit 1 / PWH Unit 1~25, E(英6) (対面授業): 教科書 Unit 1-2
4	E(英5) (対面授業): 教科書 Unit 3-4, E(英6) (e-learning): ADL Unit 2 / PWH Unit 26~50
5	E(英5) (e-learning): ADL Unit 2 / PWH Unit 26~50, E(英6) (対面授業): 教科書 Unit 3-4
6	E(英5) e-learning教材学習テスト1回目 E(英6) e-learning教材学習テスト1回目
7	E(英5)(対面授業): 教科書 Unit 5-6 / E(英6)(e-learning): ADL Unit 3 / PWH Unit 51~75
8	E(英5) (e-learning): ADL Unit 3 / PWH Unit 51~75, E(英6)(対面授業): 教科書 Unit 5-6
9	E(英5) (対面授業): 教科書 Unit 7-8, E(英6) (e-learning): ADL Unit 4-5 / PWH Unit 76~100
10	E(英5) (e-learning): ADL Unit 4-5 / PWH Unit 76~100, E(英6)(対面授業): 教科書 Unit 7-8
11	E(英5) (対面授業): 教科書 Unit 9-10, E(英6) (e-learning): e-learning教材学習テストに向け
12	E(英5) (対面授業) e-learning教材学習テスト2回目 E(英6) (対面) e-learning教材学習テスト2回目
13	E(英5) (e-learning): これまでのe-learningの復習, E(英6) (対面授業): 教科書 Unit 9-10
14	E(英5) (対面授業): 教科書 Unit 11-12, E(英6) (e-learning): これまでのe-learningの復習
15	E(英5) (e-learning): これまでのe-learningの復習, E(英6) (対面授業): 教科書 Unit 11-12
16	(対面) 定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009004	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	● 総合英語 (P1・P2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	P1・P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	教養教育講義棟 B棟1F		
担当教員TEL/Tel	a-okuda▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	まずは、メールにて質問を受け付ける。 a-okuda▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」は、ハイブリッド型の授業が行われます。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明しますので、必ず出席してください。 対面授業は隔週で実施されます。前半は、英語でのEmailの書き方を学び、Emailの構成、よく使用する表現、書き言葉と話し言葉の違いに焦点を当てながら授業を進める予定です。後半は、グループワークを中心に授業を進めながら、英語でのプレゼンテーション技法を学びます。 対面授業がない週は、指定されたe-learning教材学習を各自で行ってまいります。ただし、教材学習時間としては十分ではないので、授業時間外でも学習を行ってください。		
授業到達目標/Course goals	・E-mailの構成、表現を身につける。 ・書き言葉と話し言葉の違いを説明できる。 ・プレゼンテーションの技法(構成、表現、態度)を身につける。 ・英語でプレゼンテーションができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-learning教材学習テスト2回: 40% e-learning教材学習週の学習時間・進捗度: 10% 詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。 小テスト: 10% 授業への参加度(プレゼン、提出物、授業への積極的な参加など): 20% 期末試験: 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 予習: 事前に指定した範囲の資料を確認し、課題に取り組む。(1時間/回) 復習: ビデオ教材や配布資料を見直し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については次の授業までにLACSの掲示板に投稿すること。(30分/回)		

キーワード/Keywords	E-mail、Presentation、e-learning	
教科書・教材・参考書/Materials	ビデオ教材、プリント教材は授業時に提示し、LACSにアップロードする。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	対面で実施します。	
学生へのメッセージ/Message for students	対面授業（初回オリエンテーション、e-learning教材学習テスト2回を除く）は全6回です。その内2回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失いますので、注意してください。（なお、欠席届の取り扱いについては学生便覧P10に準じます。）	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	P1（対面）：オリエンテーション P2（対面）：オリエンテーション	A B
第2回	P1（対面授業）：先生に送るE-maiを想定し、構成について調べ、e-mailを書く P2（e-learning）：CW Unit 1 / PWH Unit 1～25	A B
第3回	P1（e-learning）：CW Unit 1 / PWH Unit 1～25 P2（対面授業）：先生に送るE-maiを想定し、構成について調べ、e-mailを書く	A B
第4回	P1（対面授業）：書き言葉と話し言葉の違いについて学ぶ 教員が用意した問題を通して、先生に送るE-mailの表現として適切でないものを選び、適切なものに修正する P2（e-learning）：CW Unit 2 / PWH Unit 26～50	A B
第5回	P1（e-learning）：CW Unit 2 / PWH Unit 26～50 P2（対面授業）：書き言葉と話し言葉の違いについて学ぶ 教員が用意した問題を通して、先生に送るE-mailの表現として適切でないものを選び、適切なものに修正する	A B
第6回	P1（対面授業）：E-mailの返信の書き方について学ぶ 教員が用意したお題を受けて返信を書く（グループで考える） グループ間で相互評価する P2（e-learning）：e-learning教材学習テストに向けた復習	A B
第7回	P1（対面）：e-learning教材学習テスト1回目 P2（対面）：e-learning教材学習テスト1回目	A
第8回	P1（e-learning）：CW Unit 3 / PWH Unit 51～75 P2（対面授業）：E-mailの返信の書き方について学ぶ 教員が用意したお題を受けて返信を書く（グループで考える） グループ間で相互評価する	A B
第9回	P1（対面授業）：プレゼンテーション（１） 論理的な構成について学ぶ 自分の意思力について振り返り、英語で１分間話す P2（e-learning）：CW Unit 3 / PWH Unit 51～75	A B
第10回	P1（e-learning）：CW Unit 4～5 / PWH Unit 76～100 P2（対面授業）：プレゼンテーション（１） 論理的な構成について学ぶ 自分の意思力について振り返り、英語で１分間話す	A B
第11回	P1（対面授業）：プレゼンテーション（２） 論理的な構成、よく使う表現について学ぶ グループで意思力について考え、英語で２分間話す P2（e-learning）：CW Unit 4～5 / PWH Unit 76～100	A B

第12回	P1 (e-learning) : e-learning教材学習テストに向けた復習 P2 (対面授業) : プレゼンテーション (2) 論理的な構成、よく使う表現について学ぶ グループで意思力について考え、英語で 2 分間話す	A B
第13回	P1 (対面) : e-learning教材学習テスト2回目 P2 (対面) : e-learning教材学習テスト2回目	A
第14回	P1 (対面授業) : プレゼンテーション (3) よく使う表現について学ぶ 個人でプレゼンテーション用の台本を作成する P2 (e-learning) : プレゼンテーション (3) よく使う表現について学ぶ 個人でプレゼンテーション用の台本を作成する	A B
第15回	P1 (e-learning) : プレゼンテーション (4) 英語の発音、態度、資料の作成方法について学ぶ プレゼンテーションの練習をする P2 (対面授業) : プレゼンテーション (4) 英語の発音、態度、資料の作成方法について学ぶ プレゼンテーションの練習をする	A B
第16回	(対面) 定期試験	A

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009005	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (L1・L2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	(L1・L2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火3 木3、木4		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語I」は、ハイブリッド型の授業が行われます。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。対面授業は隔週で実施されます。対面授業の回数は6回になりますので、スキルの内、リスニングとリーディングを集中的に鍛えます。 対面授業がない週は、指定されたe-learning教材学習を各自で行ってもらいます。ただし、教材学習時間としては十分ではないので、授業外でも学習を行ってください。 対面授業前半は、教科書を用いて、歌を用いたディクテーションを行い、また歌に出てきた重要表現の構文を用いてリピーティングの練習をし、リスニングだけではなく、話す練習も行います。 対面授業後半では、授業者制作のDVDを用いて、必要な情報を探しながら、英語を聞き取る練習を行います。また、CDを用いたDictation活動により、細部まで正確に聞き取る練習を行います。また教材に関連する英文パッセージを読み、重要な情報の読み取りや概略をまとめる練習を行います。		
授業到達目標/Course goals	1) CD教材を聞いて、必要な情報を聞き取り、使われた重要な表現を使えるようになる。 2) 様々なテーマを扱った英文を読んで、必要な情報を見つけ、英文の内容を90%理解することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ☐D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F.教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-learning教材学習テスト40%、e-learning教材学習週の学習時間・進捗度10%、定期試験40%、授業でのアクティビティや発表10%で行います。 詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	e-learning 自学自習 (合計30時間) 毎回課せられる英文教材の精読。(1時間/回) 教科書のディクテーションパートの予習。(1時間/回)		
キーワード/Keywords	Repeating, Pair Work, Listening Strategies、 Scanning、 Skimming		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書（テキスト）L1: English Communication through Pop and Hometown Songs（英光社）¥1,900 L2: English Songs of the Heart（英光社）¥1900 （将来、小中学校で英語教育をするのに、役に立つ英語の歌と基本英文の練習が入ったテキストです）。 担当者制作教材Scotland Tour（授業で使用するリスニングおよびリーディング用プリントは毎回対面時に配布します）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2974
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。状況によって変更する場合は、LACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning 教材（3 Step やパワーワーク）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです 対面授業（初回オリエンテーション、e-learning教材学習テスト2回を除く）は全6回です。その内2回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失いますので、注意してください。（なお、欠席届の取り扱いについては学生便覧P10に準じます。）
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	対面 オリエンテーション 家庭等でのe-learning 教材の具体的な進め方のリストも配布いたします。
第2回	L1 対面 英文プリント Scoltand Tour Unit 1 Part 1 教科書Unit 1 & 2 L2 e-learning 学習
第3回	L1 e-learning 学習 L2 対面 英文プリント Scoltand Tour Unit 1 Part 1 教科書Unit 1 & 2
第4回	L1 対面 英文プリント Scoltand Tour Unit 1 Part 2 教科書Unit 3 & 4 L2 e-learning 学習
第5回	L1 e-learning 学習 L2 対面 英文プリント Scoltand Tour Unit 1 Part 2 教科書Unit 3 & 4
第6回	L1 対面 英文プリント Scoltand Tour Unit 1 Part 3 教科書Unit 5 & 6 L2 e-learning 学習
第7回	対面 e-learning 教材学習テスト第1回目
第8回	L1 e-learning 学習 L2 対面 英文プリント Scoltand Tour Unit 1 Part 3 教科書Unit 5 & 6
第9回	L1 対面 英文プリント Scoltand Tour Unit 1 Part 4 教科書Unit 7 & 8 L2 e-learning 学習
第10回	L1 e-learning 学習 L2 対面 英文プリント Scoltand Tour Unit 1 Part 4 教科書Unit 7 & 8
第11回	L1 対面 英文プリント Scoltand Tour Unit 2 Part 1 教科書Unit 9 & 10 L2 e-learning 学習
第12回	L1 e-learning 学習 L2 対面 英文プリント Scoltand Tour Unit 2 Part 1 教科書Unit 9 & 10
第13回	対面 e-learning 教材学習テスト第2回目
第14回	L1 対面 英文プリント Scoltand Tour Unit 2 Part 2 教科書Unit 11 & 12 L2 英文プリントの家庭学習
第15回	L1 英文プリント の家庭学習 L2 対面 英文プリント Scoltand Tour Unit 1 Part 2 教科書Unit 11 & 12
第16回	対面 定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009006	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (L3・L4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L3・L4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akinatsuhana3▲gmail.com(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師控室 月、火、木曜日 昼休み(メールで事前に連絡してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」は、ハイブリッド型の授業が行われます。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明しますので、必ず出席してください。 対面授業は隔週で実施されます。最近の世界の話題や出来事について英語で情報を得たり、自分の考えを平易な英語で簡潔に伝える演習をします。海外の文化やグローバル社会に向けての関心と知識を広げ、総合的な英語力を身につけていきます。 対面授業がない週は、指定されたe-learning教材学習を各自で行ってもらいます。ただし、教材学習時間としては十分ではないので、授業時間外でも学習を行ってください。		
授業到達目標/Course goals	英語で情報を得ることを通じて、世界の問題を自分と関連づけられるようになる 英語学習のモチベーションを高めることができる リスニングと音読演習を通じて、英語音声の特徴に慣れ親しみ、自らのリスニング、スピーキングに役立てることができるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ☐D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F.教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・e-learning教材学習テスト2回(40%)(1回目20%+2回目20%) ・e-learning教材学習週の学習時間・進捗度(10%) ・予習復習課題(10%)+授業への取り組み(10%)+期末テスト(30%) e-learning教材学習については、学習時間・進捗度等を総合的に判断し、成績に反映します。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	[e-learning自学自習] 合計30時間 [予習] ニュースやスピーチのリスニング、読解、音読の予習(1hr/回) [復習] 授業で紹介するトピックスと資料の理解を深める課題(1hr/回)		
キーワード/Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	指定の教科書はありません。最近のニュース、SNS、TEDtalks などの皆さんの身近にある情報を英語教材として学習していきます。題材は授業の中で紹介していきます。LACSに演習の資料やリンクを配信するので確認ください。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業がオンラインに変更になる場合があります。LACSの連絡事項でお知らせしますので授業日前に確認下さい。
学生へのメッセージ/Message for students	対面授業（初回オリエンテーション、e-learning教材学習テスト2回を除く）は全6回です。その内2回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失いますので、注意してください。（なお、欠席届の取り扱いについては学生便覧P10に準じます。） 授業資料や課題はLACSに配信しますので授業毎に確認ください。また、対面授業がオンライン授業に変更になることもありますので、対面授業日前にLACSの連絡事項を必ず確認してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	西アフリカのUNICEF事務所にJPOとして2年間勤務 ・ 時事英語や国際社会でコミュニケーションをとる際に役立つ実践的な英語を適宜授業に取り入れている。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	L3 (対面) : オリエンテーション L4 (対面) : オリエンテーション
第2回	L3 (対面授業) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習 L4 (e-learning) : PowerWords Hybrid : Unit 1 ~ 25 / ADL : Unit 1
第3回	L3 (e-learning) : PowerWords Hybrid : Unit 1 ~ 25 / ADL : Unit 1 L4 (対面授業) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習
第4回	L3 (対面授業) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習 L4 (e-learning) : PowerWords Hybrid : Unit 26 ~ 50 / ADL : Unit 2
第5回	L3 (e-learning) : PowerWords Hybrid : Unit 26 ~ 50 / ADL : Unit 2 L4 (対面授業) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習
第6回	L3 (対面授業) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習 L4 (e-learning) : e-learning教材学習テストに向けた復習
第7回	L3(対面) e-learning 教材学習テスト1回目 L4(対面) e-learning 教材学習テスト1回目
第8回	L3 (e-learning) : PowerWords Hybrid : Unit 51 ~ 75 / ADL : Unit 3 L4 (対面授業) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習
第9回	L3 (対面授業) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習 L4 (e-learning) : PowerWords Hybrid : Unit 51 ~ 75 / ADL : Unit 3
第10回	L3 (e-learning) : PowerWords Hybrid : Unit 76 ~ 100 / ADL : Unit 4 ~ 5 L4 (対面授業) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習
第11回	L3 (対面授業) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習 L4 (e-learning) : PowerWords Hybrid : Unit 76 ~ 100, ADL : Unit 4 ~ 5
第12回	L3 (e-learning) : e-learning教材学習テストに向けた復習 L4 (対面授業) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習
第13回	L3(対面) e-learning 教材学習テスト2回目 L4(対面) e-learning 教材学習テスト2回目
第14回	L3 (対面授業) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習 L4 (e-learning) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習
第15回	L3 (e-learning) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習 L4 (対面授業) : 配布教材によるリスニング・リーディング演習
第16回	(対面) 定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009007	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (M1・M2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1・M2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kmat▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館617号室		
担当教員TEL/Tel	kmat▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12:00~12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」は、ハイブリッド型の授業が行われます。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明しますので、必ず出席してください。 対面授業は隔週で実施され、下記(1), (2)の位置づけにより、読解力を身につけます。対面授業がない週は、指定されたe-learning教材学習を各自で行ってもらいます。ただし、教材学習時間としては十分ではないので、授業時間外でも学習を行ってください。 (1) TOEICの読解テストにも役立つように英文を正確に(精読), 早く(速読)読み解くことができる。 (2) 英文中の重要な語句や表現を習得し、英語による表現(英作文等による発信)にも応用できる		
授業到達目標/Course goals	・TOEICの読解力問題で70%~80%くらいの正解を得ることができる。(対応するDP: 分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。) ・予め与えられた課題について、授業の到達目標を達成するために何を予習して調べる必要があるかを考えて取り組むことができる。(対応するDP: 自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) ・プレゼンテーション等において、自分の考えや調べた内容を相手に分かりやすく伝えることができる。(対応するDP: 自ら学び、考え、主張し、行動することができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	(1) e-Learning教材学習テスト2回(40%) (2) e-Learning教材学習週の学習時間・進捗度(10%) (3) 授業内容の定着を図るための学期末試験(重要な語句・表現・読解・英作文)の成績(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回の授業で指定する予習（英語の単語の意味・発音、文の意味、筆者の主張）を辞書、参考書、教科書の注釈等を用いて調べてくること。 ・事前学習として、授業で示された課題の下調べとそのまとめ（１h） ・事後学習として、当該授業で学んだことの定着を図る復習（指示された課題や定期試験の準備）（１h） ・e-learning自学自習（合計30時間）
キーワード/Keywords	読解力（精読・速読）、表現力
教科書・教材・参考書/Materials	行方昭夫・川西 進・柴田稔彦・上島建吉（編注）College Reader for Everybody. 音羽書房鶴見書店.
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業の実施形態は、全て対面形式です（e-Learning教材による学習日は除きます）。
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には毎回英和辞書を（可能ならば英英辞書も）持参すること。 対面授業（初回オリエンテーション、e-learning教材学習テスト2回を除く）は全6回です。その内2回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失いますので、注意してください。（なお、欠席届の取り扱いについては学生便覧P10に準じます。）
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	M1:（対面授業）オリエンテーション（授業の進め方、評価・教科書の説明、次回授業内容の概要） M2:（対面授業）オリエンテーション（授業の進め方、評価・教科書の説明、次回授業内容の概要）
第2回	M1:（対面授業） William Somerset Maugham, "The Romantic Young Lady" (1) M2:（e-Learning） CW Unit 1 & PWH Unit 1～25（レベル5）
第3回	M1:（e-Learning） CW Unit 1 & PWH Unit 1～25（レベル5） M2:（対面授業） William Somerset Maugham, "The Romantic Young Lady" (1)
第4回	M1:（対面授業） William Somerset Maugham, "The Romantic Young Lady" (2) M2:（e-Learning） CW Unit 2 & PWH Unit 26～50（レベル5）
第5回	M1:（e-Learning） CW Unit 2 & PWH Unit 26～50（レベル5） M2:（対面授業） William Somerset Maugham, "The Romantic Young Lady" (2)
第6回	M1:（対面授業） William Somerset Maugham, "The Romantic Young Lady" (3) M2:（e-Learning） e-Learning教材学習テストに向けた復習
第7回	M1:（対面授業） e-Learning教材学習テスト1回目 M2:（対面授業） e-Learning教材学習テスト1回目
第8回	M1:（e-Learning） CW Unit 3 & PWH Unit 51～75（レベル5） M2:（対面授業） William Somerset Maugham, "The Romantic Young Lady" (3)
第9回	M1:（対面授業） William Somerset Maugham, "The Romantic Young Lady" (4) M2:（e-Learning） CW Unit 3 & PWH Unit 51～75（レベル5）
第10回	M1:（e-Learning） CW Unit 4 & PWH Unit 76～100（レベル5） M2:（対面授業） William Somerset Maugham, "The Romantic Young Lady" (4)
第11回	M1:（対面授業） William Somerset Maugham, "The Romantic Young Lady" (5) M2:（e-Learning） CW Unit 4 & PWH Unit 76～100（レベル5）
第12回	M1:（e-Learning） e-Learning教材学習テストに向けた復習 M2:（対面授業） William Somerset Maugham, "The Romantic Young Lady" (5)
第13回	M1:（対面授業） e-Learning教材学習テスト2回目 M2:（対面授業） e-Learning教材学習テスト2回目

第14回	M1: (対面授業) William Somerset Maugham, "The Romantic Young Lady" (6) M2: (e-Learning) William Somerset Maugham, "The Romantic Young Lady" に関する教材を別途指示する
第15回	M1: (e-Learning) William Somerset Maugham, "The Romantic Young Lady" に関する教材を別途指示する M2: (対面授業) William Somerset Maugham, "The Romantic Young Lady" (6)
第16回	(対面) 学期末試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009008	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (M3・M4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M3・M4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部実験棟1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行い、学術的な英文に慣れる。		
授業到達目標/Course goals	・まとまった英文の大意を素早くつかみながら、日本語で要約ができるようになる。 ・リスニングの際に、話者の意図を素早く捉えることができるようになる。 ・英語で要約をする際に、その構造を自家菜籠中のものにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(40%), e-learning教材学習進捗度(10%)、予習チェックテストゼミ等(30%), 定期試験(20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 事前学習: 課題と教材の予習(1時間/回) 事後学習: 解説された課題の見直し(1時間/回)		
キーワード/Keywords	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Materials	プリント教材		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974		
備考/Remarks	本授業は、e-learning学習教材に取り組む会を除き、すべて対面で行う。		

学生へのメッセージ/Message for students	ハイブリッド授業の特性を理解し、その都度、e-learning教材及び語彙教材もその都度きちんと進めて学習を行ってください。 対面授業（初回オリエンテーション、e-learning教材学習テスト2回を除く）は全6回です。その内2回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失いますので、注意してください。（なお、欠席届の取り扱いについては学生便覧P10に準じます。）
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕/高等学校英語教員としての実務経験/高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。/佐賀県立致遠館高等学校、佐賀県立唐津東高等学校
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（対面） (1)ハイブリッド型授業の説明 (2)e-learning学習教材の説明 *必ずPCを持参すること。
第2回	M3（対面）：Listening 1, プリント教材 "Introduction to Academic Writing" M4（e-learning）：ADL Unit 1/ PWH レベル3 Unit 1～25
第3回	M3（e-learning）：CW Unit 1/ PWH レベル5 Unit 1～25 M4（対面）：Listening 1, プリント教材 "Unit 1. Operation Frozen Dumbo ' Gets Elephant Tonga Pregnant at Vienna Zoo (Asahi Weekly August 26, 2012) "
第4回	M3（対面）：Listening 2, プリント教材 "The Disappearance of Left-handers" M4（e-learning）：ADL Unit 2/ PWH レベル3 Unit 26～50
第5回	M3（e-learning）：CW Unit 2/ PWH レベル5 Unit 26～50 M4（対面）：Listening 2, プリント教材 " Unit 2. Divers ' Paradise Palau (Mainichi, October 15, 2011) "
第6回	M3（対面）：Listening 3, プリント教材 "Access to Water" M4（e-learning）：ADL Unit 2/ PWH レベル3 Unit 26～50
第7回	M3（対面）：第1回e-learning教材学習テスト（前半） M4（対面）：第1回e-learning教材学習テスト（後半）
第8回	M3（e-learning）：CW Unit 3/ PWH レベル5 Unit 51～75 M4（対面）：Listening 3, プリント教材 "Unit 3. Horsemeat Scandal Set to Spur Tougher EU Food Tests. (Asahi, February 24,2013) "
第9回	M3（対面）：Listening 4, プリント教材 "The Nature of Terrorism" M4（e-learning）：ADL Unit 3/ PWH レベル3 Unit 51～75
第10回	M3（e-learning）：CW Unit 4-5/ PWH レベル5 Unit 76～100 M4（対面）：Writing 4, プリント教材 "Unit 4. ' I ' ve Always Dreamed of Flying Like a Bird " (Mainichi, August 18, 2012)"
第11回	M3（対面）：Listening 5, プリント教材 "Harry Potter" M4（e-learning）：ADL Unit 4-5/ PWH レベル3 Unit 76～100
第12回	M3（e-learning）：第2回e-learning教材学習テストに向けた復習 M4（対面）：Writing 5, プリント教材 "Unit 5. Supreme Court to Allow Online Retailing of Drugs
第13回	M3（対面）：第2回e-learning教材学習テスト（前半） M4（対面）：第2回e-learning教材学習テスト（後半）
第14回	M3（対面）：Grammar and Written Expression 1, プリント教材 "Marriage" M4（e-learning）：これまでの復習
第15回	M3（e-learning）：これまでの復習 M4（対面）：Writing 6, プリント教材 "Unit 6. Jakarta ' s weekend farmers (Mainichi, December 15, 2012) "
第16回	（対面）定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009009	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (F1・F2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	F1・F2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	教養教育講義棟 B棟1F		
担当教員TEL/Tel	a-okuda▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	まずは、メールにて質問を受け付ける。 a-okuda▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」は、ハイブリッド型の授業が行われます。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明しますので、必ず出席してください。 対面授業は隔週で実施されます。前半は、英語でのEmailの書き方を学び、Emailの構成、よく使用する表現、書き言葉と話し言葉の違いに焦点を当てながら授業を進める予定です。後半は、グループワークを中心に授業を進めながら、英語でのプレゼンテーション技法を学びます。 対面授業がない週は、指定されたe-learning教材学習を各自で行ってまいります。ただし、教材学習時間としては十分ではないので、授業時間外でも学習を行ってください。		
授業到達目標/Course goals	・E-mailの構成、表現を身につける。 ・書き言葉と話し言葉の違いを説明できる。 ・プレゼンテーションの技法(構成、表現、態度)を身につける。 ・英語でプレゼンテーションができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F.教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-learning教材学習テスト2回: 40% e-learning教材学習週の学習時間・進捗度: 10% 詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。 小テスト: 10% 授業への参加度(プレゼン、提出物、授業への積極的な参加など): 20% 期末試験: 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 予習: 事前に指定した範囲の資料を確認し、課題に取り組む。(1時間/回) 復習: ビデオ教材や配布資料を見直し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については次の授業までにLACSの掲示板に投稿すること。(30分/回)		

キーワード/Keywords	E-mail、Presentation、e-learning	
教科書・教材・参考書/Materials	ビデオ教材、プリント教材は授業時に提示し、LACSにアップロードする。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	対面で実施します。	
学生へのメッセージ/Message for students	対面授業（初回オリエンテーション、e-learning教材学習テスト2回を除く）は全6回です。その内2回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失いますので、注意してください。（なお、欠席届の取り扱いについては学生便覧P10に準じます。）	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	F1（対面）：オリエンテーション F2（対面）：オリエンテーション	A B
第2回	F1（対面授業）：先生に送るE-maiを想定し、構成について調べ、e-mailを書く F2（e-learning）：ADL Unit 1 / PWH Unit 1～25	A B
第3回	F1（e-learning）：ADL Unit 1 / PWH Unit 1～25 F2（対面授業）：先生に送るE-maiを想定し、構成について調べ、e-mailを書く	A B
第4回	F1（対面授業）：書き言葉と話し言葉の違いについて学ぶ 教員が用意した問題を通して、先生に送るE-mailの表現として適切でないものを選び、適切なものに修正する F2（e-learning）：ADL Unit 2 / PWH Unit 26～50	A B
第5回	F1（e-learning）：ADL Unit 2 / PWH Unit 26～50 F2（対面授業）：書き言葉と話し言葉の違いについて学ぶ 教員が用意した問題を通して、先生に送るE-mailの表現として適切でないものを選び、適切なものに修正する	A B
第6回	F1（対面授業）：E-mailの返信の書き方について学ぶ 教員が用意したお題を受けて返信を書く（グループで考える） グループ間で相互評価する F2（e-learning）：e-learning教材学習テストに向けた復習	A B
第7回	F1（対面）：e-learning教材学習テスト1回目 F2（対面）：e-learning教材学習テスト1回目	A
第8回	F1（e-learning）：ADL Unit 3 / PWH Unit 51～75 F2（対面授業）：E-mailの返信の書き方について学ぶ 教員が用意したお題を受けて返信を書く（グループで考える） グループ間で相互評価する	A B
第9回	F1（対面授業）：プレゼンテーション（１） 論理的な構成について学ぶ 自分の意思力について振り返り、英語で１分間話す F2（e-learning）：ADL Unit 3 / PWH Unit 51～75	A B
第10回	F1（e-learning）：ADL Unit 4～5 / PWH Unit 76～100 F2（対面授業）：プレゼンテーション（１） 論理的な構成について学ぶ 自分の意思力について振り返り、英語で１分間話す	A B
第11回	F1（対面授業）：プレゼンテーション（２） 論理的な構成、よく使う表現について学ぶ グループで意思力について考え、英語で２分間話す F2（e-learning）：ADL Unit 4～5 / PWH Unit 76～100	A B

第12回	F1 (e- learning) : e- learning教材学習テストに向けた復習 F2 (対面授業) : プレゼンテーション (2) 論理的な構成、よく使う表現について学ぶ グループで意思力について考え、英語で 2 分間話す	A B
第13回	F1 (対面) : e- learning教材学習テスト2回目 F2 (対面) : e- learning教材学習テスト2回目	A
第14回	F1 (対面授業) : プレゼンテーション (3) よく使う表現について学ぶ 個人でプレゼンテーション用の台本を作成する F2 (e- learning) : プレゼンテーション (3) よく使う表現について学ぶ 個人でプレゼンテーション用の台本を作成する	A B
第15回	F1 (e- learning) : プレゼンテーション (4) 英語の発音、態度、資料の作成方法について学ぶ プレゼンテーションの練習をする F2 (対面授業) : プレゼンテーション (4) 英語の発音、態度、資料の作成方法について学ぶ プレゼンテーションの練習をする	A B
第16回	(対面) 定期試験	A

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009010	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (F3・K3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	F3・K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mkumagami ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	mkumagami ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜3限(メールでも受け付ける)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」は、ハイブリッド型の授業が行われます。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明しますので、必ず出席してください。 対面授業は隔週で実施されます。指定の教科書を使用しSDGsの17の目標に関連したニュースについて理解を深め、自身でも収集した情報とともに、各トピックに対する自分の意見を簡潔にまとめる練習を行います。 対面授業がない週は、指定されたe-learning教材学習を各自で行ってもらいます。ただし、教材学習時間としては十分ではないので、授業時間外でも学習を行ってください。		
授業到達目標/Course goals	・与えられた言語資料の細部まで理解する読み方・聞き方と大意を掴むための読み方・聞き方を、必要に応じて使い分けられるようになる。 ・授業で扱う多様なトピックについて議論し意見をまとめることができる。 ・社会的な問題について概要や意見を論理的にまとめるためのプロセスを理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Attendance & Participation (10%), Quiz (10%), Assignment (15%), Final Exam (15%), e-learning教材学習テスト2回 (40%), e-learning教材学習週の学習・進捗度 (10%) 詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回予習を兼ねて小テストを実施するので教科書各Unitの語彙を学習してくること。その他予習・復習、課題の詳細は授業内およびLACS上で指示します。 ・e-learning 自学自習(合計 30 時間) ・予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1 時間/回) ・復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1時間/回)		
キーワード/Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	大学生のためのCNNニュース・リスニング：SDGs編，朝日出版
受講要件（履修条件）/Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本授業は、e-learning教材を学習する週を除いて、対面で実施します。授業スケジュールについては初回の授業で詳しく説明します。
学生へのメッセージ/Message for students	対面授業（初回オリエンテーション、e-learning教材学習テスト2回を除く）は全6回です。その内2回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失いますので、注意してください。（なお、欠席届の取り扱いについては学生便覧P10に準じます。）
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	限上 麻衣/アメリカの日本人学校（補習校）での勤務経験/海外での日本語教育・初等教育経験がある教員が、多言語使用環境での教育に関する知識・経験を活かし、第二言語学習者の知識状態や発達過程について講義を行う。/ニューヨーク育英学園
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 4/10	F3（対面）：オリエンテーション K3（対面）：オリエンテーション
第2回: 4/17	F3（対面授業）：テキストUnit 1, 2 K3（e-learning）：3-Step Unit 1 / PWH Unit 1～25
第3回: 4/24	F3（e-learning）：3-Step Unit 1 / PWH Unit 1～25 K3（対面授業）：テキストUnit 1, 2
第4回: 5/8	F3（対面授業）：テキストUnit 3, 4 K3（e-learning）：3-Step Unit 2 / PWH Unit 26～50
第5回: 5/15	F3（e-learning）：3-Step Unit 2 / PWH Unit 26～50 K3（対面授業）：テキストUnit 3, 4
第6回: 5/22	F3（対面授業）：テキストUnit 5, 6 K3（e-learning）：e-learning教材学習テストに向けた復習
第7回: 5/29	F3（対面）：e-learning教材学習テスト1回目 K3（対面）：e-learning教材学習テスト1回目
第8回: 6/5	F3（e-learning）：3-Step Unit 3 / PWH Unit 51～75 K3（対面授業）：テキストUnit 5, 6
第9回: 6/12	F3（対面授業）：テキストUnit 7, 8 K3（e-learning）：3-Step Unit 3 / PWH Unit 51～75
第10回: 6/19	F3（e-learning）：3-Step Unit 4～5 / PWH Unit 76～100 K3（対面授業）：テキストUnit 7, 8
第11回: 6/26	F3（対面授業）：テキストUnit 9, 10 K3（e-learning）：3-Step Unit 4～5 / PWH Unit 76～100
第12回: 7/3	F3（e-learning）：e-learning教材学習テストに向けた復習 K3（対面授業）：テキストUnit 9, 10
第13回: 7/10	F3（対面）：e-learning教材学習テスト2回目 K3（対面）：e-learning教材学習テスト2回目
第14回: 7/17	F3（対面授業）：テキストUnit 11, 12 K3（e-learning）：異なる教材をLACSにて指示します。
第15回: 7/24	F3（e-learning）：異なる教材をLACSにて指示します。 K3（対面授業）：テキストUnit 11, 12
第16回: 8/7	（対面）Final Exam

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009011	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (D1・D2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	D1・D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mkumagami ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	mkumagami ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜3限(メールでも受け付ける)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」は、ハイブリッド型の授業が行われます。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明しますので、必ず出席してください。 対面授業は隔週で実施されます。指定の教科書を使用しSDGsの17の目標に関連したニュースについて理解を深め、自身でも収集した情報とともに、各トピックに対する自分の意見を簡潔にまとめる練習を行います。 対面授業がない週は、指定されたe-learning教材学習を各自で行ってもらいます。ただし、教材学習時間としては十分ではないので、授業時間外でも学習を行ってください。		
授業到達目標/Course goals	- 与えられた言語資料の細部まで理解する読み方・聞き方と大意を掴むための読み方・聞き方を、必要に応じて使い分けられるようになる。 - 授業で扱う多様なトピックについて議論し意見をまとめることができる。 - 社会的な問題について概要や意見を論理的にまとめるためのプロセスを理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Attendance & Participation (10%), Quiz (10%), Assignment (15%), Final Exam (15%), e-learning教材学習テスト2回 (40%), e-learning教材学習週の学習・進捗度 (10%) 詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回予習を兼ねて小テストを実施するので教科書各Unitの語彙を学習してくること。その他予習・復習、課題の詳細は授業内およびLACS上で指示します。 - e-learning 自学自習(合計 30 時間) - 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1 時間/回) - 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1時間/回)		
キーワード/Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	大学生のためのCNNニュース・リスニング：SDGs編，朝日出版
受講要件（履修条件）/Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本授業は、e-learning教材を学習する週を除いて、対面で実施します。授業スケジュールについては初回の授業で詳しく説明します。
学生へのメッセージ/Message for students	対面授業（初回オリエンテーション、e-learning教材学習テスト2回を除く）は全6回です。その内2回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失いますので、注意してください。（なお、欠席届の取り扱いについては学生便覧P10に準じます。）
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	限上 麻衣/アメリカの日本人学校（補習校）での勤務経験/海外での日本語教育・初等教育経験がある教員が、多言語使用環境での教育に関する知識・経験を活かし、第二言語学習者の知識状態や発達過程について講義を行う。/ニューヨーク育英学園
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 4/11	D1（対面）：オリエンテーション D2（対面）：オリエンテーション
第2回: 4/18	D1（対面授業）：テキストUnit 1, 2 D2（e-learning）：3-Step Unit 1 / PWH Unit 1～25
第3回: 4/25	D1（e-learning）：3-Step Unit 1 / PWH Unit 1～25 D2（対面授業）：テキストUnit 1, 2
第4回: 5/9	D1（対面授業）：テキストUnit 3, 4 D2（e-learning）：3-Step Unit 2 / PWH Unit 26～50
第5回: 5/16	D1（e-learning）：3-Step Unit 2 / PWH Unit 26～50 D2（対面授業）：テキストUnit 3, 4
第6回: 5/23	D1（対面授業）：テキストUnit 5, 6 D2（e-learning）：e-learning教材学習テストに向けた復習
第7回: 5/30	D1（対面）：e-learning教材学習テスト1回目 D2（対面）：e-learning教材学習テスト1回目
第8回: 6/6	D1（e-learning）：3-Step Unit 3 / PWH Unit 51～75 D2（対面授業）：テキストUnit 5, 6
第9回: 6/13	D1（対面授業）：テキストUnit 7, 8 D2（e-learning）：3-Step Unit 3 / PWH Unit 51～75
第10回: 6/20	D1（e-learning）：3-Step Unit 4～5 / PWH Unit 76～100 D2（対面授業）：テキストUnit 7, 8
第11回: 6/27	D1（対面授業）：テキストUnit 9, 10 D2（e-learning）：3-Step Unit 4～5 / PWH Unit 76～100
第12回: 7/4	D1（e-learning）：e-learning教材学習テストに向けた復習 D2（対面授業）：テキストUnit 9, 10
第13回: 7/11	D1（対面）：e-learning教材学習テスト2回目 D2（対面）：e-learning教材学習テスト2回目
第14回: 7/18	D1（対面授業）：テキストUnit 11, 12 D2（e-learning）：異なる教材をLACSにて指示します。
第15回: 7/25	D1（e-learning）：異なる教材をLACSにて指示します。 D2（対面授業）：テキストUnit 11, 12
第16回: 8/1	（対面）Final Exam

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009012	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (J1・J2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	J1・J2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yamasaki▲sun.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤控室		
担当教員TEL / Tel	yamasaki▲sun.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	yamasaki▲sun.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	「総合英語」は、ハイブリッド型の授業が行われます。詳細については、1回目の授業 (オリエンテーション) で説明しますので、必ず出席してください。対面授業は隔週で実施され、テキストを使用して、異文化理解に関する問題を数多く取り上げ、リスニングとスピーキングを中心とした英語運用能力を強化しつつ、外国語習得に必要な不可欠な目標言語圏の文化的背景を学びます。対面授業がない週は、指定されたe-learning教材学習を各自で行ってもらいます。ただし、教材学習時間としては十分ではないので、授業時間外でも学習を行ってください。		
授業到達目標 / Course goals	コミュニケーションに必要な英語圏の文化について知見を広めていきます。英語圏における行動様式を、英語圏に住む人々の意識や価値観に強く訴える性質を有するものとして観察し、その中に見ることができる英語圏と日本における文化や思想の違いについて理解します。また、日本人にとって困難な英語の発音を、日本語との比較を通して解説し、その習得を目指します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Quiz 10%, Final Exam 20%, Assignments 10%, Class Participation 10% e-learning教材学習テスト 40% (1回目20%+2回目20%), e-learning教材学習週の学習時間・進捗度10% (1回目5%+2回目5%) e-learning教材学習週については、学習時間・進捗度等を総合的に判断し、成績に反映します。詳細については、1回目の授業 (オリエンテーション) で説明します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習 (合計30時間) 事前学習: テキストの予習及び関連語彙や表現チェックに1時間/回 事後学習: 大意の把握と語彙・表現の再確認に1時間/回		
キーワード / Keywords	スピーキング、リスニング、異文化コミュニケーション、異文化理解、発音、思考力・表現力		

教科書・教材・参考書/Materials	『ゼロからスタート英会話～英語の気づき・マナーがわかる編～』山崎祐一 著（Jリサーチ出版） その他、英語コミュニケーション演習のハンドアウトを配布します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	対面授業（初回オリエンテーション、e-learning教材学習テスト2回を除く）は全6回です。その内2回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失いますので、注意してください。（なお、欠席届の取り扱いについては学生便覧P10に準じます。）
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	J1: 対面形式: オリエンテーション（授業前半） J2: 対面形式: オリエンテーション（授業後半）
第2回	J1: 対面授業 初対面のあいさつ、自己紹介、コミュニケーションアクティビティ J2: e-learning学習 ADL Unit 1 / PWH Unit 1～25 (Level 3)
第3回	J1: e-learning学習 ADL Unit 1 / PWH Unit 1～25 (Level 3) J2: 対面授業 初対面のあいさつ、自己紹介、コミュニケーションアクティビティ
第4回	J1: 対面授業 お礼を言う、謝る、コミュニケーションアクティビティ J2: e-learning学習 ADL Unit 2 / PWH Unit 26～50 (Level 3)
第5回	J1: e-learning学習 ADL Unit 2 / PWH Unit 26～50 (Level 3) J2: 対面授業 お礼を言う、謝る、コミュニケーションアクティビティ
第6回	J1: 対面授業 お悔みの表現、コミュニケーションアクティビティ J2: e-learning学習 e-learning学習テスト1回目に向けた復習
第7回	J1: 対面形式 第1回e-learning教材学習テスト(約30分程度)（授業前半） J2: 対面形式 第1回e-learning教材学習テスト(約30分程度)（授業後半）
第8回	J1: e-learning学習 ADL Unit 3 / PWH Unit 51～75 (Level 3) J2: 対面形式 お悔みの表現、コミュニケーションアクティビティ
第9回	J1: 対面形式 人間関係は対等、まず結論ありき、コミュニケーションアクティビティ J2: e-learning学習 ADL Unit 3 / PWH Unit 51～75 (Level 3)
第10回	J1: e-learning学習 ADL Unit 4～5 / PWH Unit 76～100 (Level 3) J2: 対面形式 人間関係は対等、まず結論ありき、コミュニケーションアクティビティ
第11回	J1: 対面形式 語順はやっかいだ、コミュニケーションアクティビティ J2: e-learning学習 ADL Unit 4～5 / PWH Unit 76～100 (Level 3)
第12回	J1: e-learning学習 e-learning学習テスト2回目に向けた復習 J2: 対面形式 語順はやっかいだ、コミュニケーションアクティビティ
第13回	J1: 対面形式 第2回e-learning教材学習テスト(約30分程度)（授業前半） J2: 対面形式 第2回e-learning教材学習テスト(約30分程度)（授業後半）
第14回	J1: 対面形式 曖昧表現、間接表現、コミュニケーションアクティビティ J2: e-learning学習 これまでのe-learning学習の復習
第15回	J1: e-learning学習 これまでのe-learning学習の復習 J2: 対面形式 曖昧表現、間接表現、コミュニケーションアクティビティ
第16回	対面形式: 期末試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009013	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (T6・T7) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T6・T7		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo▲hotmail.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo▲hotmail.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	r_otsubo▲hotmail.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」は、ハイブリッド型の授業が行われます。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。 対面授業は隔週で実施され、SDGs(持続可能な開発目標)に触れた英文記事を通して、世界の現状についての知見を広げると同時に、読解力向上のため、既習文法の再確認に取り組みます。 対面授業がない週は、指定されたe-learning教材学習を各自で行ってもらいます。ただし、教材学習時間としては十分ではないので、授業時間外でも学習を行ってください。		
授業到達目標/Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 社会の多様性が理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容理解確認小テスト(5回×4点=20点)+授業課題(5点)+定期試験(25点)+e-learning教材学習テスト(40点)+e-learning教材学習の学習時間・進捗度(10点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。 e-learning教材学習週については、学習時間・進捗度等を総合的に判断し、成績に反映します。 詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・e-learning 自学自習(合計30時間) ・予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また、小テストに向けた学習(1時間/回) ・復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努め、また、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1時間/回)		
キーワード/Keywords	SDGs		
教科書・教材・参考書/Materials	The Global Future(朝日出版社)1,800円+税		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式とオンライン形式（オンデマンド）のハイブリッド型で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	対面授業（初回オリエンテーション、e-learning教材学習テスト2回を除く）は全6回です。その内2回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失いますので、注意してください。（なお、欠席届の取り扱いについては学生便覧P10に準じます。） 授業は必ず予習をして臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/11)	L1 (対面) : オリエンテーション L2 (対面) : オリエンテーション
第2回 (4/18)	L1 (対面授業) : テキスト Unit 1 United Nations' Activities Saving Humanity from Hell L2 (e-learning) : ADL Unit 1 / PWH Unit 1~25
第3回 (4/25)	L1 (e-learning) : ADL Unit 1 / PWH Unit 1~25 L2 (対面授業) : テキスト Unit 1 United Nations' Activities Saving Humanity from Hell
第4回 (5/9)	L1 (対面授業) : Unit 1 内容理解確認小テスト テキスト Unit 2 Slavery as Big Business L2 (e-learning) : ADL Unit 2 / PWH Unit 26~50
第5回 (5/16)	L1 (e-learning) : ADL Unit 2 / PWH Unit 26~50 L2 (対面授業) : Unit 1内容理解確認小テスト テキスト Unit 2 Slavery as Big Business
第6回 (5/23)	L1 (対面授業) : Unit 2 内容理解確認小テスト テキスト Unit 3 Messages Left by Martin Luther King L2 (e-learning) : e-learning教材学習テストに向けた復習
第7回 (5/30)	L1 (対面) : e-learning教材学習テスト 1回目 L2 (対面) : e-learning教材学習テスト 1回目
第8回 (6/6)	L1 (e-learning) : ADL Unit 3 / PWH Unit 51~75 L2 (対面授業) : Unit 2 内容理解確認小テスト テキスト Unit 3 Messages Left by Martin Luther King
第9回 (6/13)	L1 (対面授業) : Unit 3 内容理解確認小テスト テキスト Unit 4 A Remarkable Achievement through Solidarity L2 (e-learning) : ADL Unit 3 / PWH Unit 51~75
第10回 (6/20)	L1 (e-learning) : ADL Unit 4~5 / PWH Unit 76 ~100 L2 (対面授業) : Unit 3 内容理解確認小テスト テキスト Unit 4 A Remarkable Achievement through Solidarity
第11回 (6/27)	L1 (対面授業) : Unit 4 内容理解確認小テスト テキスト Unit 5 Technology's Contribution to Humanity (1) L2 (e-learning) : ADL Unit 4~5 / PWH Unit 76 ~100
第12回 (7/4)	L1 (e-learning) : e-learning教材学習テストに向けた復習 L2 (対面授業) : Unit 4 内容理解確認小テスト テキスト Unit 5 Technology's Contribution to Humanity (1)
第13回 (7/11)	L1 (対面) : e-learning教材学習テスト 2回目 L2 (対面) : e-learning教材学習テスト 2回目
第14回 (7/18)	L1 (対面授業) : Unit 5 内容理解確認小テスト テキスト Unit 6 Technology's Contribution to Humanity (2) L2 (e-learning) : 授業課題 Unit 6 Technology's Contribution to Humanity (2)
第15回 (7/25)	L1 (e-learning) : 授業課題 Unit 7 Coexistence of Computers and Humans L2 (対面授業) : Unit 5 内容理解確認小テスト テキスト Unit 7 Coexistence of Computers and Humans
第16回 (8/1)	(対面) 定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009014	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (T8・T9) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	作元 裕也		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	作元 裕也		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	作元 裕也		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T8・T9		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ysakumoto▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、又は要相談(上記メールアドレスにメールを送ってください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」は、ハイブリッド型の授業が行われます。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。 対面授業は隔週で実施され、「大学生のためのCNNニュース・リスニング:STEAM教育 編」を用い、英語の基礎力を向上させることを目的とします。また、大切な文法事項を取り扱います。 対面授業がない週は、指定されたe-learning教材学習を各自で行ってまいります。ただし、教材学習時間としては十分ではないので、授業外でも学習を行ってください。		
授業到達目標/Course goals	1. リスニング能力、リーディング能力を向上させることができる。2. 様々なトピックに関して、英語で、議論できるようになる。3. 授業のトレーニングにより、英語の表現能力を向上させることができる。4. 文法をより理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ☐C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 40% + 授業参加度 10%= (50%) (各クラスの評価内容を記載) + e-learning教材学習2回テスト40%(1回目20% + 2回目20%) + e-learning教材学習時間・進捗度(10%) e-learning教材学習週については、学習時間・進捗度等を総合的に判断し、成績に反映します。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	1. Unit内の語彙を予習の段階で学習してくること。そして、事前に教科書の内容を目を通しておく。(1.5h/回)。2. 授業で習ったことを復習し、内容を理解すること(1.5h/回)。3. e-learning自学自習(合計30h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	大学生のためのCNNニュース・リスニング:STEAM教育 編, 朝日出版		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	前回出席が原則。教科書を必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業はハイブリッドで実施します。変更がある場合は、LACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	対面授業（初回オリエンテーション、e-learning教材学習テスト2回を除く）は全6回です。その内2回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失いますので、注意してください。（なお、欠席届の取り扱いについては学生便覧P10に準じます。）
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	T8, T9 (対面) : オリエンテーション
第2回	T8 (対面授業) : 教科書 Unit 1-2, T9 (e-learning) : ADL Unit 1 / PWH Unit 1~25
第3回	T8 (e-learning) : ADL Unit 1 / PWH Unit 1~25, T9 (対面授業) : 教科書 Unit 1-2
第4回	T8 (対面授業) : 教科書 Unit 3-4, T9 (e-learning) : ADL Unit 2 / PWH Unit 26~50
第5回	T8 (e-learning) : ADL Unit 2 / PWH Unit 26~50, T9 (対面授業) : 教科書 Unit 3-4
第6回	T8 (対面授業) : 教科書 Unit 5-6, T9 (e-learning) : e-learning教材学習テストに向けた復習
第7回	T8 e-learning教材学習テスト1回目 T9 e-learning教材学習テスト1回目
第8回	T8 (e-learning) : ADL Unit 3 / PWH Unit 51~75, T9 (対面授業) : 教科書 Unit 5-6
第9回	T8 (対面授業) : 教科書 Unit 7-8, T9 (e-learning) : ADL Unit 3 / PWH Unit 51~75
第10回	T8 (e-learning) : ADL Unit 4-5 / PWH Unit 76~100, T9 (対面授業) : 教科書 Unit 7-8
第11回	T8 (対面授業) : 教科書 Unit 9-10, T9 (e-learning) : ADL Unit 4-5 / PWH Unit 76~100
第12回	T8 (e-learning) : e-learning教材学習テストに向けた復習, T9 (対面授業) : 教科書 Unit 9-10
第13回	T8 (対面) e-learning教材学習テスト2回目 T9 (対面) e-learning教材学習テスト2回目
第14回	T8 (対面授業) : 教科書 Unit 11-12, T9 (e-learning) : これまでのe-learningの復習
第15回	T8 (e-learning) : これまでのe-learningの復習, T9 (対面授業) : 教科書 Unit 11-12
第16回	(対面) 定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009015	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (T4・T5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	作元 裕也		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	作元 裕也		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	作元 裕也		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T4・T5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ysakumoto▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、又は要相談(上記メールアドレスにメールを送ってください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」は、ハイブリッド型の授業が行われます。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。 対面授業は隔週で実施され、「大学生のためのCNNニュース・リスニング:STEAM教育 編」を用い、英語の基礎力を向上させることを目的とします。また、大切な文法事項を取り扱います。 対面授業がない週は、指定されたe-learning教材学習を各自で行ってもらいます。ただし、教材学習時間としては十分ではないので、授業外でも学習を行ってください。		
授業到達目標/Course goals	1. リスニング能力、リーディング能力を向上させることができる。2. 様々なトピックに関して、英語で、議論できるようになる。3. 授業のトレーニングにより、英語の表現能力を向上させることができる。4. 文法をより理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ☐C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 40% + 授業参加度 10%= (50%) (各クラスの評価内容を記載) + e-learning教材学習2回テスト40%(1回目20% + 2回目20%) + e-learning教材学習時間・進捗度(10%) e-learning教材学習週については、学習時間・進捗度等を総合的に判断し、成績に反映します。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	1. Unit内の語彙を予習の段階で学習してくる。そして、事前に教科書の内容を目を通しておく。(1.5h/回)。2. 授業で習ったことを復習し、内容を理解すること(1.5h/回)。3. e-learning自学自習(合計30h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	大学生のためのCNNニュース・リスニング:STEAM教育 編, 朝日出版		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	前回出席が原則。教科書を必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	対面授業（初回オリエンテーション、e-learning教材学習テスト2回を除く）は全6回です。その内2回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失いますので、注意してください。（なお、欠席届の取り扱いについては学生便覧P10に準じます。）
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	T4, T5 (対面) : オリエンテーション
第2回	T4 (対面授業) : 教科書 Unit 1-2, T5 (e-learning) : ADL Unit 1 / PWH Unit 1~25
第3回	T4 (e-learning) : ADL Unit 1 / PWH Unit 1~25, T5 (対面授業) : 教科書 Unit 1-2
第4回	T4 (対面授業) : 教科書 Unit 3-4, T5 (e-learning) : ADL Unit 2 / PWH Unit 26~50
第5回	T4 (e-learning) : ADL Unit 2 / PWH Unit 26~50, T5 (対面授業) : 教科書 Unit 3-4
第6回	T4 (対面授業) : 教科書 Unit 5-6, T5 (e-learning) : e-learning教材学習テストに向けた復習
第7回	T4 e-learning教材学習テスト1回目 T5 e-learning教材学習テスト1回目
第8回	T4 (e-learning) : ADL Unit 3 / PWH Unit 51~75, T5 (対面授業) : 教科書 Unit 5-6
第9回	T4 (対面授業) : 教科書 Unit 7-8, T5 (e-learning) : ADL Unit 3 / PWH Unit 51~75
第10回	T4 (e-learning) : ADL Unit 4-5 / PWH Unit 76~100, T5 (対面授業) : 教科書 Unit 7-8
第11回	T4 (対面授業) : 教科書 Unit 9-10, T5 (e-learning) : ADL Unit 4-5 / PWH Unit 76~100
第12回	T4 (e-learning) : e-learning教材学習テストに向けた復習, T5 (対面授業) : 教科書 Unit 9-10
第13回	T4 (対面) e-learning教材学習テスト2回目 T5 (対面) e-learning教材学習テスト2回目
第14回	T4 (対面授業) : 教科書 Unit 11-12, T5 (e-learning) : これまでのe-learningの復習
第15回	T4 (e-learning) : これまでのe-learningの復習, T5 (対面授業) : 教科書 Unit 11-12
第16回	(対面) 定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009016	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	● 総合英語 (J3・T1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	J3・T1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyamada2024nagasaki▲gmail.com(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」は、ハイブリッド型の授業が行われます。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明しますので、必ず出席してください。対面授業は隔週で実施され、テキストに基づいて、リーディングを中心におきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざします。予習・復習の詳細については、第1回目授業で説明をします。対面授業がない週は、指定されたe-learning教材学習を各自で行ってもらいます。ただし、教材学習時間としては十分ではないので、授業外でも学習を行ってください。		
授業到達目標/Course goals	1. 科学分野の英文を速く正確に読めるようになる。 2. 短い英語ニュース程度の内容の要点をつかむことができる。 3. 簡単な内容についての自分の意見を、英語で相手に伝えることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-learning教材学習2回テスト40%(1回目20%+2回目20%) + e-learning教材学習時間・進捗度(10%) 定期試験(20%) 学習参加度・学習報告書(15%) 中間テスト(15%) 詳細は第1回目授業で説明します。 オンライン授業となった場合は、評価配分を変更する可能性があります。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 事前学習: テキストの予習に1時間/回 事後学習: 授業後のノート整理と音読練習と追加課題に1時間/回		

キーワード/Keywords	Repetition is the mother of learning.
教科書・教材・参考書/Materials	笹島茂ほか著 CLIL in English-Technology and the Society 南雲堂 ISBN: 978-4-523-17952-8
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	予習状況や質問・応答など、授業の取り組みも評価として重要なファクターとなる。20分以上の遅刻は原則欠席評価とする。授業中の携帯操作（辞書で調べる等は除く）等不真面目な態度は減点評価する。対面式授業で欠席した授業については、その授業後に提出した学習内容報告は原則対象外とする。 対面授業（初回オリエンテーション、e-learning教材学習テスト2回を除く）は全6回です。その内2回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失いますので、注意してください。（なお、欠席届の取り扱いについては学生便覧P10に準じます。）
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	J3:（対面）オリエンテーション（授業の構成と課題の評価について。英英辞典の利用や、音読練習のコツなど、英語学習全般について） T1:（対面）オリエンテーション（授業の構成と課題の評価について。英英辞典の利用や、音読練習のコツなど、英語学習全般について）
第2回	J3（対面）: Unit 6 Electric Vehicles T1: e-learning ADL Unit 1/ PWH Unit 1～25
第3回	J3: e-learning ADL Unit 1/ PWH Unit 1～25 T1（対面）: Unit 6 Electric Vehicles
第4回	J3（対面）: Unit 7 Rescue Robots T1: e-learning ADL Unit 2/ PWH Unit 26～50
第5回	J3 : e-learning ADL Unit 2/ PWH Unit 26～50 T1（対面）: Unit 7 Rescue Robots
第6回	J3（対面）: Unit 4 Eco Housing T1: e-learning e-learning学習テスト1回目に向けた復習
第7回	J3（対面）: e-learning教材学習テスト（1回目） T1（対面）: e-learning教材学習テスト（1回目）
第8回	J3: e-learning ADL Unit 3/ PWH Unit 51～75 T1（対面）: Unit 4 Eco Housing
第9回	J3（対面）: Unit 11 Shifting to Renewable Energy 中間テスト（Unit 6, Unit 7） T1: e-learning ADL Unit 3/ PWH Unit 51～75
第10回	J3: e-learning ADL Unit 4～5/ PWH Unit 76～100 T1（対面）: Unit 11 Shifting to Renewable Energy 中間テスト（Unit 6, Unit 7）
第11回	J3（対面）: Unit 1 Artificial Intelligence T1: e-learning ADL Unit 4～5/ PWH Unit 76～100

第12回	J3: e-learning e-learning学習テスト2回目に向けた復習 T1 (対面): Unit 1 Artificial Intelligence
第13回	J3 (対面): e-learning教材学習テスト (2回目) T1 (対面): e-learning教材学習テスト (2回目)
第14回	J3 (対面): Unit 12 Nature Learning T1: e-learning これまでのe-learning学習の復習
第15回	J3: e-learning これまでのe-learning学習の復習 T1 (対面): Unit 12 Nature Learning
第16回	J3: (対面) 定期試験 T1: (対面) 定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009017	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (K1・K2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	K1・K2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo▲hotmail.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo▲hotmail.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	r_otsubo▲hotmail.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」は、ハイブリッド型の授業が行われます。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。 対面授業は隔週で実施され、SDGs(持続可能な開発目標)に触れた英文記事を通して、世界の現状についての知見を広げると同時に、読解力向上のため、既習文法の再確認に取り組みます。 対面授業がない週は、指定されたe-learning教材学習を各自で行ってもらいます。ただし、教材学習時間としては十分ではないので、授業時間外でも学習を行ってください。		
授業到達目標/Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 社会の多様性が理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives ☐C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容理解確認小テスト(5回×4点=20点)+授業課題(5点)+定期試験(25点)+e-learning教材学習テスト(40点)+e-learning教材学習の学習時間・進捗度(10点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。 e-learning教材学習週については、学習時間・進捗度等を総合的に判断し、成績に反映します。 詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・e-learning 自学自習(合計30時間) ・予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また、小テストに向けた学習(1時間/回) ・復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努め、また、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1時間/回)		
キーワード/Keywords	SDGs		
教科書・教材・参考書/Materials	The Global Future(朝日出版社)1,800円+税		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式とオンライン形式（オンデマンド）のハイブリッド型で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	対面授業（初回オリエンテーション、e-learning教材学習テスト2回を除く）は全6回です。その内2回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失いますので、注意してください。（なお、欠席届の取り扱いについては学生便覧P10に準じます。） 授業は必ず予習をして臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/12)	L1 (対面) : オリエンテーション L2 (対面) : オリエンテーション
第2回 (4/19)	L1 (対面授業) : テキスト Unit 1 United Nations' Activities Saving Humanity from Hell L2 (e-learning) : ADL Unit 1 / PWH Unit 1~25
第3回 (4/26)	L1 (e-learning) : ADL Unit 1 / PWH Unit 1~25 L2 (対面授業) : テキスト Unit 1 United Nations' Activities Saving Humanity from Hell
第4回 (5/10)	L1 (対面授業) : Unit 1 内容理解確認小テスト テキスト Unit 2 Slavery as Big Business L2 (e-learning) : ADL Unit 2 / PWH Unit 26~50
第5回 (5/17)	L1 (e-learning) : ADL Unit 2 / PWH Unit 26~50 L2 (対面授業) : Unit 1内容理解確認小テスト テキスト Unit 2 Slavery as Big Business
第6回 (5/24)	L1 (対面授業) : Unit 2 内容理解確認小テスト テキスト Unit 3 Messages Left by Martin Luther King L2 (e-learning) : e-learning教材学習テストに向けた復習
第7回 (5/31)	L1 (対面) : e-learning教材学習テスト 1回目 L2 (対面) : e-learning教材学習テスト 1回目
第8回 (6/7)	L1 (e-learning) : ADL Unit 3 / PWH Unit 51~75 L2 (対面授業) : Unit 2 内容理解確認小テスト テキスト Unit 3 Messages Left by Martin Luther King
第9回 (6/14)	L1 (対面授業) : Unit 3 内容理解確認小テスト テキスト Unit 4 A Remarkable Achievement through Solidarity L2 (e-learning) : ADL Unit 3 / PWH Unit 51~75
第10回 (6/21)	L1 (e-learning) : ADL Unit 4~5 / PWH Unit 76 ~100 L2 (対面授業) : Unit 3 内容理解確認小テスト テキスト Unit 4 A Remarkable Achievement through Solidarity
第11回 (6/28)	L1 (対面授業) : Unit 4 内容理解確認小テスト テキスト Unit 5 Technology's Contribution to Humanity (1) L2 (e-learning) : ADL Unit 4~5 / PWH Unit 76 ~100
第12回 (7/5)	L1 (e-learning) : e-learning教材学習テストに向けた復習 L2 (対面授業) : Unit 4 内容理解確認小テスト テキスト Unit 5 Technology's Contribution to Humanity (1)
第13回 (7/12)	L1 (対面) : e-learning教材学習テスト 2回目 L2 (対面) : e-learning教材学習テスト 2回目
第14回 (7/19)	L1 (対面授業) : Unit 5 内容理解確認小テスト テキスト Unit 6 Technology's Contribution to Humanity (2) L2 (e-learning) : 授業課題 Unit 6 Technology's Contribution to Humanity (2)
第15回 (7/26)	L1 (e-learning) : 授業課題 Unit 7 Coexistence of Computers and Humans L2 (対面授業) : Unit 5 内容理解確認小テスト テキスト Unit 7 Coexistence of Computers and Humans
第16回 (8/2)	(対面) 定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009018	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (M5・M6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	作元 裕也		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	作元 裕也		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	作元 裕也		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M5・M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ysakumoto▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、又は要相談(上記メールアドレスにメールを送ってください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」は、ハイブリッド型の授業が行われます。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。 対面授業は隔週で実施され、「大学生のためのCNNニュース・リスニング:STEAM教育 編」を用い、英語の基礎力を向上させることを目的とします。また、大切な文法事項を取り扱います。 対面授業がない週は、指定されたe-learning教材学習を各自で行ってまいります。ただし、教材学習時間としては十分ではないので、授業外でも学習を行ってください。		
授業到達目標/Course goals	1. リスニング能力、リーディング能力を向上させることができる。2. 様々なトピックに関して、英語で、議論できるようになる。3. 授業のトレーニングにより、英語の表現能力を向上させることができる。4. 文法をより理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ☐C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 40% + 授業参加度 10%= (50%) (各クラスの評価内容を記載) + e-learning教材学習2回テスト40%(1回目20% + 2回目20%) + e-learning教材学習時間・進捗度(10%) e-learning教材学習週については、学習時間・進捗度等を総合的に判断し、成績に反映します。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	1. Unit内の語彙を予習の段階で学習してくる。そして、事前に教科書の内容を目を通しておく。(1.5h/回)。2. 授業で習ったことを復習し、内容を理解すること(1.5h/回)。3. e-learning自学自習(合計30h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	大学生のためのCNNニュース・リスニング:STEAM教育 編, 朝日出版		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	前回出席が原則。教科書を必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	対面授業（初回オリエンテーション、e-learning教材学習テスト2回を除く）は全6回です。その内2回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失いますので、注意してください。（なお、欠席届の取り扱いについては学生便覧P10に準じます。）
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	M5, M6 (対面) : オリエンテーション
第2回	M5 (対面授業) : 教科書 Unit 1-2, M6 (e-learning) : ADL Unit 1 / PWH Unit 1~25
第3回	M5 (e-learning) : ADL Unit 1 / PWH Unit 1~25, M6 (対面授業) : 教科書 Unit 1-2
第4回	M5 (対面授業) : 教科書 Unit 3-4, M6 (e-learning) : ADL Unit 2 / PWH Unit 26~50
第5回	M5 (e-learning) : ADL Unit 2 / PWH Unit 26~50, M6 (対面授業) : 教科書 Unit 3-4
第6回	M5 (対面授業) : 教科書 Unit 5-6, M6 (e-learning) : e-learning教材学習テストに向けた復習
第7回	M5 e-learning教材学習テスト1回目 M6 e-learning教材学習テスト1回目
第8回	M5 (e-learning) : ADL Unit 3 / PWH Unit 51~75, M6 (対面授業) : 教科書 Unit 5-6
第9回	M5 (対面授業) : 教科書 Unit 7-8, M6 (e-learning) : ADL Unit 3 / PWH Unit 51~75
第10回	M5 (e-learning) : ADL Unit 4-5 / PWH Unit 76~100, M6 (対面授業) : 教科書 Unit 7-8
第11回	M5 (対面授業) : 教科書 Unit 9-10, M6 (e-learning) : ADL Unit 4-5 / PWH Unit 76~100
第12回	M5 (e-learning) : e-learning教材学習テストに向けた復習, M6 (対面授業) : 教科書 Unit 9-10
第13回	M5 (対面) e-learning教材学習テスト2回目 M6 (対面) e-learning教材学習テスト2回目
第14回	M5 (対面授業) : 教科書 Unit 11-12, M6 (e-learning) : これまでのe-learningの復習
第15回	M5 (e-learning) : これまでのe-learningの復習, M6 (対面授業) : 教科書 Unit 11-12
第16回	(対面) 定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009019	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (T2・T3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T2・T3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	教養教育講義棟 B棟1F		
担当教員TEL/Tel	a-okuda▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	まずは、メールにて質問を受け付ける。 a-okuda▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」は、ハイブリッド型の授業が行われます。詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明しますので、必ず出席してください。 対面授業は隔週で実施されます。前半は、英語でのEmailの書き方を学び、Emailの構成、よく使用する表現、書き言葉と話し言葉の違いに焦点を当てながら授業を進める予定です。後半は、グループワークを中心に授業を進めながら、英語でのプレゼンテーション技法を学びます。 対面授業がない週は、指定されたe-learning教材学習を各自で行ってまいります。ただし、教材学習時間としては十分ではないので、授業時間外でも学習を行ってください。		
授業到達目標/Course goals	・E-mailの構成、表現を身につける。 ・書き言葉と話し言葉の違いを説明できる。 ・プレゼンテーションの技法(構成、表現、態度)を身につける。 ・英語でプレゼンテーションができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-learning教材学習テスト2回: 40% e-learning教材学習週の学習時間・進捗度: 10% 詳細については、1回目の授業(オリエンテーション)で説明します。 小テスト: 10% 授業への参加度(プレゼン、提出物、授業への積極的な参加など): 20% 期末試験: 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 予習: 事前に指定した範囲の資料を確認し、課題に取り組む。(1時間/回) 復習: ビデオ教材や配布資料を見直し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については次の授業までにLACSの掲示板に投稿すること。(30分/回)		

キーワード/Keywords	E-mail、Presentation、e-learning	
教科書・教材・参考書/Materials	ビデオ教材、プリント教材は授業時に提示し、LACSにアップロードする。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	対面で実施します。	
学生へのメッセージ/Message for students	対面授業（初回オリエンテーション、e-learning教材学習テスト2回を除く）は全6回です。その内2回欠席した場合は、期末試験の受験資格を失いますので、注意してください。（なお、欠席届の取り扱いについては学生便覧P10に準じます。）	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	T2（対面）：オリエンテーション T3（対面）：オリエンテーション	A B
第2回	T2（対面授業）：先生に送るE-maiを想定し、構成について調べ、e-mailを書く T3（e-learning）：ADL Unit 1 / PWH Unit 1～25	A B
第3回	T2（e-learning）：ADL Unit 1 / PWH Unit 1～25 T3（対面授業）：先生に送るE-maiを想定し、構成について調べ、e-mailを書く	A B
第4回	T2（対面授業）：書き言葉と話し言葉の違いについて学ぶ 教員が用意した問題を通して、先生に送るE-mailの表現として適切でないものを選び、適切なものに修正する T3（e-learning）：ADL Unit 2 / PWH Unit 26～50	A B
第5回	T2（e-learning）：ADL Unit 2 / PWH Unit 26～50 T3（対面授業）：書き言葉と話し言葉の違いについて学ぶ 教員が用意した問題を通して、先生に送るE-mailの表現として適切でないものを選び、適切なものに修正する	A B
第6回	T2（対面授業）：E-mailの返信の書き方について学ぶ 教員が用意したお題を受けて返信を書く（グループで考える） グループ間で相互評価する T3（e-learning）：e-learning教材学習テストに向けた復習	A B
第7回	T2（対面）：e-learning教材学習テスト1回目 T3（対面）：e-learning教材学習テスト1回目	A
第8回	T2（e-learning）：ADL Unit 3 / PWH Unit 51～75 T3（対面授業）：E-mailの返信の書き方について学ぶ 教員が用意したお題を受けて返信を書く（グループで考える） グループ間で相互評価する	A B
第9回	T2（対面授業）：プレゼンテーション（１） 論理的な構成について学ぶ 自分の意思力について振り返り、英語で１分間話す T3（e-learning）：ADL Unit 3 / PWH Unit 51～75	A B
第10回	T2（e-learning）：ADL Unit 4～5 / PWH Unit 76～100 T3（対面授業）：プレゼンテーション（１） 論理的な構成について学ぶ 自分の意思力について振り返り、英語で１分間話す	A B
第11回	T2（対面授業）：プレゼンテーション（２） 論理的な構成、よく使う表現について学ぶ グループで意思力について考え、英語で２分間話す T3（e-learning）：ADL Unit 4～5 / PWH Unit 76～100	A B

第12回	T2 (e-learning) : e-learning教材学習テストに向けた復習 T3 (対面授業) : プレゼンテーション (2) 論理的な構成、よく使う表現について学ぶ グループで意思力について考え、英語で 2 分間話す	A B
第13回	T2 (対面) : e-learning教材学習テスト2回目 T3 (対面) : e-learning教材学習テスト2回目	A
第14回	T2 (対面授業) : プレゼンテーション (3) よく使う表現について学ぶ 個人でプレゼンテーション用の台本を作成する T3 (e-learning) : プレゼンテーション (3) よく使う表現について学ぶ 個人でプレゼンテーション用の台本を作成する	A B
第15回	T2 (e-learning) : プレゼンテーション (4) 英語の発音、態度、資料の作成方法について学ぶ プレゼンテーションの練習をする T3 (対面授業) : プレゼンテーション (4) 英語の発音、態度、資料の作成方法について学ぶ プレゼンテーションの練習をする	A B
第16回	(対面) 定期試験	A

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009020	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (G(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	Datzman Brien / Brien Datzman		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	Datzman Brien / Brien Datzman		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	Datzman Brien / Brien Datzman		
科目分類 / Course Category	A 科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B 科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	brien-datzman@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	090-819-2365		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Wednesday 12:50-16:00 or by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Welcome to the Reading and Writing I Course. This course will: ? introduce different reading strategies for academic texts ? introduce different genres of academic and authentic texts ? help improve reading fluency, writing fluency and academic vocabulary knowledge ? provide opportunities to practice a variety of writing genres essential for university		
授業到達目標/Course goals	Students who successfully complete this course should be able to: ? identify main ideas, details, make inferences and draw conclusions from a text ? learn and apply reading strategies to improve understanding of a text ? increase their knowledge of academic vocabulary chunks and phrases ? identify thesis statements and topic sentences ? outline an essay ? edit essays based on teacher feedback ? perform self-edit based on rubrics ? give peer feedback ? create complex and compound sentences with grammatical accuracy ? write cohesive and coherent academic essays ? use Microsoft Word to format essays properly In addition, in accordance with the University Diploma Policy, students are expected to: DP1 Gain a broad knowledge base in the humanities and social sciences to enable you to understand the significance of societal, cultural, and linguistic diversity from various perspectives. DP2 Work towards gaining an advanced proficiency in English and other key foreign languages, so you can effectively communicate and present ideas in the multicultural context of a globalized world. DP3 Develop skills in the areas of collecting and analyzing appropriate data and historical sources, identifying and organizing issues, as well as planning and executing investigations regarding various challenges and phenomena present in multicultural societies. DP4 Build inclusive relationships with diverse individuals and demonstrate partnership and leadership skills to take action towards problem-solving and fostering coexistence.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Essays (3) 30% Quizzes (3) 30% Extensive Reading 10% Writing Fluency 10% Participation 20%
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Preparation: Weekly Assignments (1hr) Review: Review course readings and vocabulary sets each week (1hr)
キーワード/Keywords	Academic reading, Academic writing, critical thinking
教科書・教材・参考書/Materials	Weaving it together 3 By Milada Broukal (CEFR B1/B2)
受講要件（履修条件）/Prerequisites	This course is called "Reading and Writing I" in the KEY program. このコースは、KEYプログラムのReading and Writing Iとして開講されています
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st	Course description/ Vocab size test / Reading: Unit 1 Reading 1 / Writing: Introduce paragraph structure, topic sentences/ Extensive reading: Assign book #1/ Speed reading #1
2nd	Writing pre-test/ Reading: Unit 1 Reading 1/ Writing: Practice writing topic sentences / Writing fluency #2
3rd	Reading: Unit 1 Reading 2/ Writing: Introduce essay structure/ Speed reading #2
4th	Reading: Unit 1 Reading 2/ Writing: WA1 Narrative essay, outlining an essay/ Writing
5th	Reading: Unit 2 Reading 1/ Writing: WA1 Narrative essay, writing thesis statements/ Speed reading #3
6th	Reading: Unit 2 Reading 1/ Writing: WA1 Narrative essay, writing an introductory paragraph/ Writing fluency #3
7th	Reading: Unit 2 Reading 2/ Writing: WA1 Narrative essay, writing body and concluding paragraphs/ Speed reading #4
8th	Reading: Unit 2 Reading 2/ Writing: WA1 rough draft due/ Extensive reading: Assign book #2/ Writing fluency #4
9th	Reading: Unit 3 Reading 1/ Writing: WA1 Peer review/ Speed reading #5
10th	Reading: Unit 3 Reading 1/ Writing: WA1 Final version due / Quiz #1/ Writing fluency #5
11th	Reading: Unit 5 Reading 1/ Writing: WA2 Comparison and contrast essay introduction/ Speed reading #6

12th	Reading: Unit 5 Reading 1/ Writing: WA2 Comparison and contrast essay structure/ Writing fluency #6
13th	Reading: Unit 5 Reading 2/ Writing: WA2 Comparison and contrast essay (outlining)/ Speed reading #7
14th	Reading: Unit 5 Reading 2/ Writing: WA2 Comparison and contrast essay (introductory paragraph)/ Writing fluency #7
15th	Reading: Unit 4 Reading 1/ Writing: WA2 Comparison and contrast essay (body + concluding paragraphs)/ Speed reading #8
16th	Reading: Unit 4 Reading 1/ Writing: WA2 Comparison and contrast essay (1st draft due)/ Extensive reading: Assign book #3/ Writing fluency #8
17th	Reading: Unit 4 Reading 2/ Writing: WA2 Comparison and contrast (Peer review)/ Speed reading #9
18th	Reading: Unit 4 Reading 2/ Writing: WA2 Cause and effect essay (Submit final version)/ Writing fluency #9/ Quiz #2
19th	Reading: Unit 7 Reading 1/ Writing: WA3 Argument essay introduction / Speed reading #10
20th	Reading: Unit 7 Reading 2/ Writing: WA3 Argument essay structure /Extensive reading: Assign book #4/ Writing fluency #10
21st	Reading: Unit 7 Reading 1/ Writing: WA3 Argument essay (outlining)/ Speed reading #11
22nd	Reading: Unit 7 Reading 2/ Writing: WA3 Argument essay (introductory paragraph)/ Writing fluency #11
23rd	Reading: Unit 7 Reading 1/Writing: WA3 Argument essay (body + concluding paragraphs)/ Speed reading #12
24th	Reading: Unit 6 Reading 1/Writing: WA3 Argument essay (self-edit)/ Writing fluency #12
25th	Reading: Unit 6 Reading 2/ Writing: WA3 Argument essay (1st draft due)/ Speed reading #13
26th	Reading: Unit 6 Reading 2/ Writing: WA3 Argument essay (Peer review)/ Writing fluency #13
27th	Reading: Unit 6 Reading 2/ Writing: WA3 Argument essay/ Speed reading #14
28th	Writing: WA3 Argument essay (Submit final version)/ Quiz #3/ Writing fluency #14
29th	Vocab size test / Essay feedbacks / Speed reading and writing fluency reflections
30th	Writing post-test / End of semester evaluation

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009021	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	● 総合英語 (G(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	Cupchak David / David Cupchak		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	Cupchak David / David Cupchak		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	Cupchak David / David Cupchak		
科目分類 / Course Category	A 科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B 科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	dcupchak@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環境科学部東館1階 Room 133		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	3rd period Monday - Thursday		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	"Welcome to the Reading and Writing I Course. This course will: ? introduce different reading strategies for academic texts ? introduce different genres of academic and authentic texts ? help improve reading fluency, writing fluency and academic vocabulary knowledge ? provide opportunities to practice a variety of writing genres essential for university		
授業到達目標/Course goals	"Students who successfully complete this course should be able to: ? identify main ideas, details, make inferences and draw conclusions from a text ? learn and apply reading strategies to improve understanding of a text ? increase their knowledge of academic vocabulary chunks and phrases ? identify thesis statements and topic sentences ? outline an essay ? edit essays based on teacher feedback ? perform self-edit based on rubrics ? give peer feedback ? create complex and compound sentences with grammatical accuracy ? write cohesive and coherent academic essays ? use Microsoft Word to format essays properly" DP1 In a globalizing world, having a broad knowledge base in the humanities and social sciences enables one to understand the significance of societal, cultural, and linguistic diversity from various perspectives. ?DP2 Possessing advanced proficiency in English and other key foreign languages, one can effectively communicate and present ideas in the multicultural context of a globalized world. ?DP3 Capable of collecting and analyzing appropriate data and historical sources, identifying and organizing issues, as well as planning and executing investigations regarding various challenges and phenomena present in multicultural societies. ?DP4 Building inclusive relationships with diverse individuals and demonstrating		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	"Mark allocation: Essays (3) 30% Quizzes (3) 30% Extensive Reading 10% Writing Fluency 10% Participation 20%"
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Preparation: Search for authentic reading materials related to the topics discussed in class Review: Review vocabulary sets each week
キーワード/Keywords	Academic reading, Academic writing, critical thinking
教科書・教材・参考書/Materials	Weaving it together 3 By Milada Broukal (CEFR B1/B2)
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
8-Apr	Course description/ Vocab size test / Reading: Unit 1 Reading 1 / Writing: Introduce paragraph structure, topic sentences/ Extensive reading: Assign book #1/ Speed reading #1
11-Apr	Writing pre-test/ Reading: Unit 1 Reading 1/ Writing: Practice writing topic sentences / Writing fluency #2
15-Apr	Reading: Unit 1 Reading 2/ Writing: Introduce essay structure/ Speed reading #2
18-Apr	Reading: Unit 1 Reading 2/ Writing: WA1 Narrative essay, outlining an essay/ Writing
22-Apr	Reading: Unit 2 Reading 1/ Writing: WA1 Narrative essay, writing thesis statements/ Speed reading #3
25-Apr	Reading: Unit 2 Reading 1/ Writing: WA1 Narrative essay, writing an introductory paragraph/ Writing fluency #3
9-May	Reading: Unit 2 Reading 2/ Writing: WA1 Narrative essay, writing body and concluding paragraphs/ Speed reading #4
13-May	Reading: Unit 2 Reading 2/ Writing: WA1 rough draft due/ Extensive reading: Assign book #2/ Writing fluency #4
16-May	Reading: Unit 3 Reading 1/ Writing: WA1 Peer review/ Speed reading #5
20-May	Reading: Unit 3 Reading 1/ Writing: WA1 Final version due / Quiz #1/ Writing fluency #5
23-May	Reading: Unit 5 Reading 1/ Writing: WA2 Comparison and contrast essay introduction/ Speed reading #6
27-May	Reading: Unit 5 Reading 1/ Writing: WA2 Comparison and contrast essay structure/ Writing fluency #6
30-May	Reading: Unit 5 Reading 2/ Writing: WA2 Comparison and contrast essay (outlining)/ Speed reading #7
3-Jun	Reading: Unit 5 Reading 2/ Writing: WA2 Comparison and contrast essay (introductory paragraph)/ Writing fluency #7

6-Jun	Reading: Unit 4 Reading 1/ Writing: WA2 Comparison and contrast essay (body + concluding paragraphs)/ Speed reading #8
10-Jun	Reading: Unit 4 Reading 1/ Writing: WA2 Comparison and contrast essay (1st draft due)/ Extensive reading: Assign book #3/ Writing fluency #8
13-Jun	Reading: Unit 4 Reading 2/ Writing: WA2 Comparison and contrast (Peer review)/ Speed reading #9
17-Jun	Reading: Unit 4 Reading 2/ Writing: WA2 Cause and effect essay (Submit final version)/ Writing fluency #9/ Quiz #2
20-Jun	Reading: Unit 7 Reading 1/ Writing: WA3 Argument essay introduction / Speed reading #10
24-Jun	Reading: Unit 7 Reading 2/ Writing: WA3 Argument essay structure /Extensive reading: Assign book #4/ Writing fluency #10
27-Jun	Reading: Unit 7 Reading 1/ Writing: WA3 Argument essay (outlining)/ Speed reading #11
1-Jul	Reading: Unit 7 Reading 2/ Writing: WA3 Argument essay (introductory paragraph)/ Writing fluency #11
4-Jul	Reading: Unit 7 Reading 1/Writing: WA3 Argument essay (body + concluding paragraphs)/ Speed reading #12
8-Jul	Reading: Unit 6 Reading 1/Writing: WA3 Argument essay (self-edit)/ Writing fluency #12
11-Jul	Reading: Unit 6 Reading 2/ Writing: WA3 Argument essay (1st draft due)/ Speed reading #13
16-Jul	Reading: Unit 6 Reading 2/ Writing: WA3 Argument essay (Peer review)/ Writing fluency #13
18-Jul	Reading: Unit 6 Reading 2/ Writing: WA3 Argument essay/ Speed reading #14
22-Jul	Writing: WA3 Argument essay (Submit final version)/ Quiz #3/ Writing fluency #14
25-Jul	Vocab size test / Essay feedbacks / Speed reading and writing fluency reflections
29-Jul	Writing post-test / End of semester evaluation

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590009022	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (G(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	Kyaw May / May Kyaw		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	Kyaw May / May Kyaw		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	Kyaw May / May Kyaw		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	maykyaw@ms.nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環境科学部東館1階 Room 133		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	Wednesday 12:50-14:20, Friday 12:50 - 14:20		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Welcome to the Reading and Writing I Course. This course will: ? introduce different reading strategies for academic texts ? introduce different genres of academic and authentic texts (DP3:Capable of collecting and analysing appropriate data and historical sources, identifying and organising issues, as well as planning and executing investigations regarding various challenges and phenomena present in multicultural societies.) ? help improve reading fluency, writing fluency and academic vocabulary knowledge ? provide opportunities to practice a variety of writing genres essential for university education (DP1: In a globalised world, having a broad knowledge base in the humanities and social sciences enables one to understand the significance of societal, cultural, and linguistic diversity from various perspectives.)		
授業到達目標/Course goals	Students who successfully complete this course should be able to: ? identify main ideas, details, make inferences and draw conclusions from a text ? learn and apply reading strategies to improve understanding of a text ? increase their knowledge of academic vocabulary chunks and phrases ? identify thesis statements and topic sentences ? outline an essay ? edit essays based on teacher feedback ? perform self-edit based on rubrics ? give peer feedback ? create complex and compound sentences with grammatical accuracy ? write cohesive and coherent academic essays ? use Microsoft Word to format essays properly"		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	"Mark allocation: Essays (3) 30% Quizzes (3) 30% Extensive Reading 10% Writing Fluency 10% Participation 20%"
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Preparation: Spend at least 1.5 hours each week to search for authentic reading materials related to the topics discussed in class and review vocabulary sets each week.
キーワード/Keywords	Academic reading, Academic writing, critical thinking
教科書・教材・参考書/Materials	Weaving it together 3 By Milada Broukal (CEFR B1/B2)
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）"
備考/Remarks	This will be a face to face class.
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
8-Apr	Course description/ Vocab size test / Reading: Unit 1 Reading 1 / Writing: Introduce paragraph structure, topic sentences/ Extensive reading: Assign book #1/ Speed reading #1
11-Apr	Writing pre-test/ Reading: Unit 1 Reading 1/ Writing: Practice writing topic sentences / Writing fluency #2
15-Apr	Reading: Unit 1 Reading 2/ Writing: Introduce essay structure/ Speed reading #2
18-Apr	Reading: Unit 1 Reading 2/ Writing: WA1 Narrative essay, outlining an essay/ Writing
22-Apr	Reading: Unit 2 Reading 1/ Writing: WA1 Narrative essay, writing thesis statements/ Speed reading #3
25-Apr	Reading: Unit 2 Reading 1/ Writing: WA1 Narrative essay, writing an introductory paragraph/ Writing fluency #3
9-May	Reading: Unit 2 Reading 2/ Writing: WA1 Narrative essay, writing body and concluding paragraphs/ Speed reading #4
13-May	Reading: Unit 2 Reading 2/ Writing: WA1 rough draft due/ Extensive reading: Assign book #2/ Writing fluency #4
16-May	Reading: Unit 3 Reading 1/ Writing: WA1 Peer review/ Speed reading #5
20-May	Reading: Unit 3 Reading 1/ Writing: WA1 Final version due / Quiz #1/ Writing fluency #5
23-May	Reading: Unit 5 Reading 1/ Writing: WA2 Comparison and contrast essay introduction/ Speed reading #6
27-May	Reading: Unit 5 Reading 1/ Writing: WA2 Comparison and contrast essay structure/ Writing fluency #6
30-May	Reading: Unit 5 Reading 2/ Writing: WA2 Comparison and contrast essay (outlining)/ Speed reading #7
3-Jun	Reading: Unit 5 Reading 2/ Writing: WA2 Comparison and contrast essay (introductory paragraph)/ Writing fluency #7
6-Jun	Reading: Unit 4 Reading 1/ Writing: WA2 Comparison and contrast essay (body + concluding paragraphs)/ Speed reading #8
10-Jun	Reading: Unit 4 Reading 1/ Writing: WA2 Comparison and contrast essay (1st draft due)/ Extensive reading: Assign book #3/ Writing fluency #8

13-Jun	Reading: Unit 4 Reading 2/ Writing: WA2 Comparison and contrast (Peer review)/ Speed reading #9
17-Jun	Reading: Unit 4 Reading 2/ Writing: WA2 Cause and effect essay (Submit final version)/ Writing fluency #9/ Quiz #2
20-Jun	Reading: Unit 7 Reading 1/ Writing: WA3 Argument essay introduction / Speed reading #10
24-Jun	Reading: Unit 7 Reading 2/ Writing: WA3 Argument essay structure /Extensive reading: Assign book #4/ Writing fluency #10
27-Jun	Reading: Unit 7 Reading 1/ Writing: WA3 Argument essay (outlining)/ Speed reading #11
1-Jul	Reading: Unit 7 Reading 2/ Writing: WA3 Argument essay (introductory paragraph)/ Writing fluency #11
4-Jul	Reading: Unit 7 Reading 1/Writing: WA3 Argument essay (body + concluding paragraphs)/ Speed reading #12
8-Jul	Reading: Unit 6 Reading 1/Writing: WA3 Argument essay (self-edit)/ Writing fluency #12
11-Jul	Reading: Unit 6 Reading 2/ Writing: WA3 Argument essay (1st draft due)/ Speed reading #13
16-Jul	Reading: Unit 6 Reading 2/ Writing: WA3 Argument essay (Peer review)/ Writing fluency #13
18-Jul	Reading: Unit 6 Reading 2/ Writing: WA3 Argument essay/ Speed reading #14
22-Jul	Writing: WA3 Argument essay (Submit final version)/ Quiz #3/ Writing fluency #14
25-Jul	Vocab size test / Essay feedbacks / Speed reading and writing fluency reflections
29-Jul	Writing post-test / End of semester evaluation